

シンガポールグローバルリーダー育成研修 実施報告

日 程：2026年7月25日（土）～7月31日（金）6泊7日

参加者：生徒25名（1年生16名、2年生9名）、引率教員2名、添乗員1名

目 的：英語での発信力、問題解決能力、プレゼンテーション能力、リーダーシップに必要な資質の育成

研修の特長

- アジアの中で成長著しく、教育水準の高いシンガポールでの研修
- シンガポール国立大学（世界大学ランキングでアジアトップレベル）でのプログラム
- 少人数のグループワークやディスカッションを中心とした内容
- 現地学生とのキャンパスツアーや市内散策など豊富な人的交流
- 実際に海外で働く人から学ぶ機会（企業訪問やゲストスピーカーセッションなど）
- 名門ボーディングスクールの学生寮に滞在し、現地の学生生活を体験
- 「英語で学ぶ」プログラム、語学研修なし
- 研修での学習効果を高める充実した事前学習と事後学習

第1日：7月25日（土）

集合予定時刻に参加者全員が関西国際空港に集合。添乗員や引率教員からの連絡事項、諸注意の後、保護者や本校教員に見送られ、出発。搭乗手続き、保安検査、出国審査を通過し、経由地の香港へ。香港では台風の影響で出発が2時間以上遅れたが、現地の天候を踏まえると出発できただけ幸運であった。現地で滞在する学生寮には予定より2時間遅れて到着し、現地スタッフの説明後、すぐに就寝し、翌日のプログラムに備えた。



第2日：7月26日（日）

この日の朝食から寮の食堂を利用。添乗員から食堂の利用方法について説明を受け、各自で食事を取りに行く。食堂には日本や他国からの団体の姿も見られ、学校らしい雰囲気であった。

この日は寮発着で現地学生との市内散策を行った。マーライオンパークまでは全員で移動し、その後は

各グループでチャイナタウンやアラブストリートなどを散策した。エリアごとに異なる姿を目の当たりにし、シンガポールが多民族国家であることを肌で感じたようだった。



夕食後には現地在住の本校卒業生と交流した。3年連続で実施となるこの企画では、ご自身の豊富な海外経験（留学や勤務）を話していただくだけでなく、「リーダーとは」との切り口から生徒に向けて熱いメッセージをいただいた。特に今回は交流よりも講演の色が強く、学びの多い内容であった。



第3日：7月27日（月）

この日から3日間は本研修の中心となる National University of Singapore（シンガポール国立大学、以下 NUS）でのプログラムを実施。現地学生がグループリーダーとして各班につき、セッションが始まった。初めに、現地学生のグループリーダーと自己紹介やアイスブレイクを行ってから、リーダーシップについての講義やディスカッションが行われた。NUS でのプログラム初日ということもあり、英語で発言するのが難しい場面も多かったようだが、ファシリテーターの進行が素晴らしく、生徒が積極的に取り組むのを後押ししてくれた。



企業訪問では日系企業向けコワーキングスペースを訪れ、担当者より説明や施設案内をしていただいた。また、2名の方にゲストスピーカーとしてお越しいただき、ご自身の経歴や海外での経験等を話していただいた。両者に共通していたのは「勇気をもって一歩踏み出すこと」であり、このメッセージは高校生にとって強く響くものであり、どの生徒も真剣に聞き入っていた。



第4日：7月28日（火）

NUS でのプログラム2日め。午前はチームビルディングに関する内容、午後は SDGs に関する内容で講義やディスカッションが実施された。昨日からの流れで、生徒たちが慣れてきた部分もあり、どのアクティビティにも積極的に取り組む姿が見られた。午後のプログラムでは、特に教育とジェンダー平等について学び、スキットを課されるなど多彩なアクティビティが続いた。生徒たちは常に英語を話す機会があり、頭脳をフル回転して対応していたようだ。寮に戻り、夕食後にはグループでこの日の振り返りを行い、できたこと、できなかったこと、明日の目標等を確認し、翌日に備えた。研修期間中、毎晩、振り返りの時間を設けたが、生徒自身の成長につなげる、学びを深めるという点で非常に有意義であった。



第5日：7月29日（水）

NUS でのプログラム最終日。午前中は主にプレゼンテーションの準備を行った。各グループのリーダーが英語の指導も含めてサポートしてくれ、生徒たちは午後の発表に向けて練習を繰り返した。昼の休憩時に大学構内にある学生生協に行ける機会があり、ほぼすべての生徒が NUS グッズ等を購入した。過去数年は使用場所が学生生協から遠く、行けなかったのが今年度は幸運だった。午後は SDGs についてのグループ発表と将来の夢について個人発表を行った。すべて英語でのプレゼンテーションであったが、十分に準備した成果が表れていた。最後に証明書をもらい、NUS でのプログラムを終えた。



第6日：7月30日（木）

現地での研修最終日。第2日の市内散策と同様に、現地学生のグループリーダーと散策先やルートを決め、散策を行った。この日は10分程度の準備で出発するグループもあり、数日前の経験が生きているようだった。この日は近代的なエリア（マリーナベイサンズやガーデンズバイザベイなど）を訪れたグループが多く、第2日とはまた違う雰囲気の新加ポールを体験できたようだ。

最終夜には、参加生徒全員が研修全体の振り返りとして、一言ずつ言葉を述べた。研修前には見られなかった積極性が見られ、発表順を求める挙手が続いたのが印象的だった。



第7日：7月31日（金）

早朝に学生寮を出発し、帰国の途に就いた。往路に続き、経由地の天候が悪く、香港から大阪への便が約1時間遅延したが、無事に帰国できた。研修終了後、参加生徒は事後課題や事後学習に取り組む予定である。